

第89期 報 告 書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

証券コード 6246

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

CONTENTS

Top Message	1
事業の概況	3
事業紹介	5
業績の概況	8
株式の状況	9
会社概要	10

株式会社 **テクノスマート**

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第89期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

当事業年度における経済環境は、ロシアによるウクライナ侵攻が長期化しており、開戦後1年2ヶ月が経過し厳寒の一冬を越えて今でも戦闘状態にあり、最近になって中国による解決に向けた動きも見られましたが状況に変化はありません。

3年続いたコロナ禍も、国をまたいだ往来制限もほぼ撤廃され収束が見えつつありますが、世界中でエネルギー・食糧不足や価格の高騰に加え米中の分断が一段と進み、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社は大きな成長が見込まれる車載用リチウムイオン二次電池の電極用、セパレータ用、及び燃料電池用塗工乾燥装置、液晶テレビやスマートフォン、タブレット端末用の光学フィルム、タッチパネル用塗工乾燥装置、及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は19,677百万円（前期比16.2%増）、営業利益は、2,232百万円（前期比35.9%増）、経常利益は2,277百万円（前期比34.5%増）、当期純利益は1,607百万円（前期比38.0%増）となりました。

受注高は、22,017百万円（前期比17.2%減）、受注残高は、26,803百万円（前期比9.6%増）、その内輸出受注残高は、15,874百万円（前期比14.8%減）となりました。

当社はここ数年、受注の80%以上が中国に偏ってありましたが、当事業年度は中国以外（韓国・台湾・欧州・米国）からの受注が増えていることに加え国内受注も増えていることから、受注状況が分散傾向にあります。しかしながら国内外の設備メーカーとの価格競争は依然として厳しいものとなっており、原材料や調達品の値上がりに加え、半導体からむ電気部品の長納期化が依然として続いております。このための対策も取っておりますが、長納期の改善が継続した課題となっております。このような中、光学フィルム関連設備と合わせて、今後の成長に期待のかかる二次電池、燃料電池などのエネルギー関連業界に対する更なる販売強化と、次世代5G向け先端材料や全固体電池などへの取り組みも積極的に行ってまいります。

株主様におかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2023年6月

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長

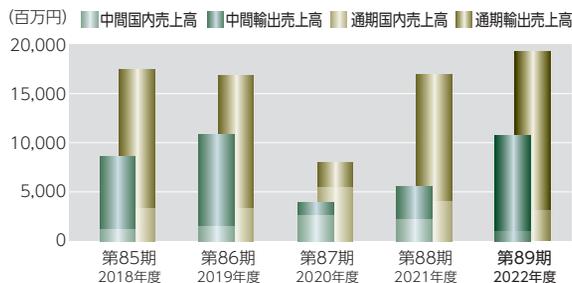
柳井 正巳



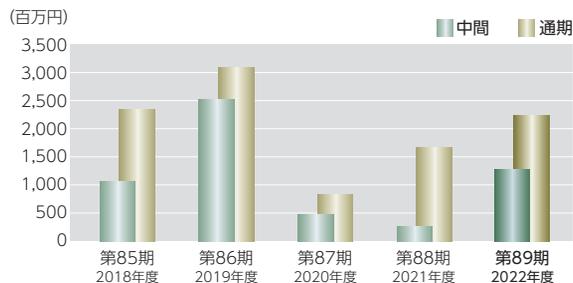
5年間の推移

売上高、営業利益、当期純利益ともに堅調に推移

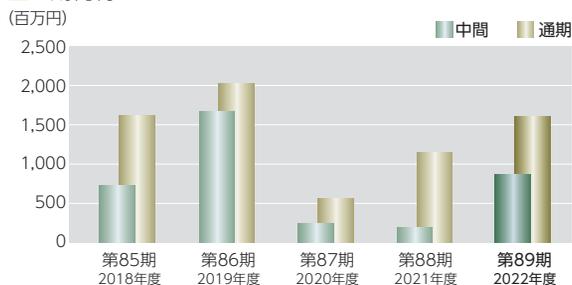
国内売上高・輸出売上高



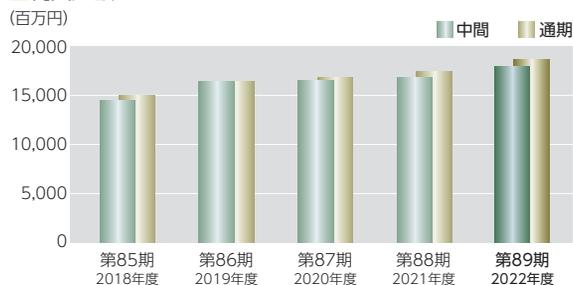
営業利益



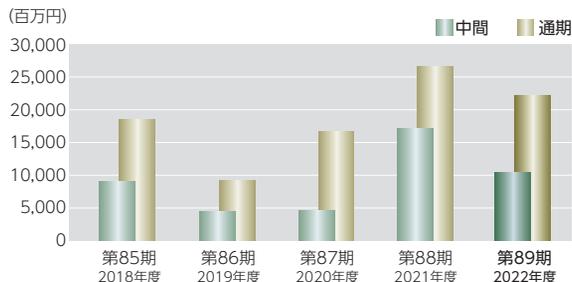
当期純利益



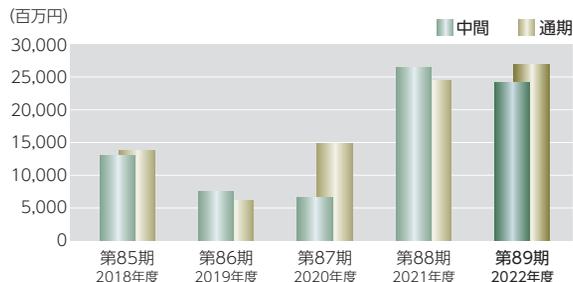
純資産額



受注高



受注残高



2024年3月期 業績予想

売上高 **20,000** 百万円

営業利益 **2,200** 百万円

当期純利益 **1,490** 百万円

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

〔経営理念〕

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様への発展と地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

経営理念

環境理念

独自理念

〔環境理念〕

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

〔独自理念〕

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

ディスプレイ部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。



売上高比率
37.9%

エネルギー関連機器

二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。



売上高比率
23.1%

機能性フィルム関連塗工機器

一般産業資材用のフィルム塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。



売上高比率
26.7%

化工機器

高性能繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンブレフィルム用製膜関連製造装置。



売上高比率
0.1%

電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。



売上高比率
5.7%

その他

各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。



売上高比率
6.5%

「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適合。

CEDコーター



高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。

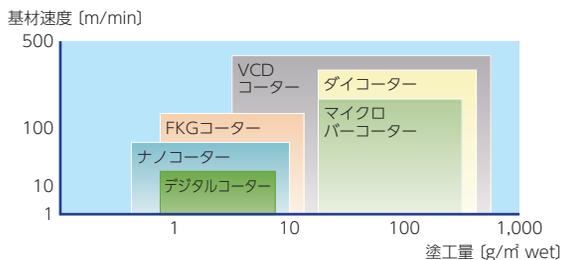
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ



研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

二次電池のご紹介

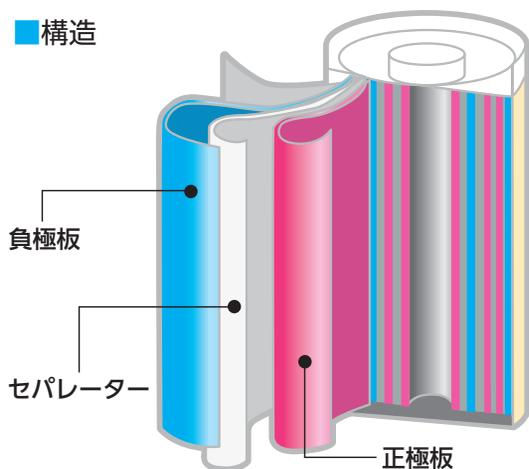
リチウムイオン二次電池の製造には、当社の装置が使用されています。

【用途例】

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末
- ・ノートパソコン、デジタルカメラ
- ・電気自動車、ハイブリッドカー 等

二次電池は、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

■構造



リチウムイオンバッテリー



円筒型の二次電池を一例としてご紹介していますが、使用用途に応じて角形、ラミネート型の二次電池もあります。

■主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

二次電池

▼使用箇所

- 正極板
- 負極板
- セパレーター



©scorp images - Fotolia.com

タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

カバーガラス

ITO層

IMフィルム

ITO層

IMフィルム

偏光板

カラーフィルター基板

配向膜

液晶層

配向膜

アレイ基板

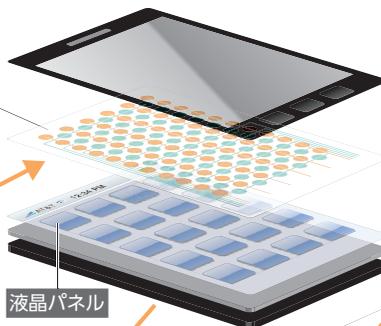
偏光板

指先が触れた時に電極の変化をX軸・Y軸の電極列から知ることによって位置を把握できます。

ITO層
(Y軸方向)

絶縁体

ITO層
(X軸方向)



液晶パネル

断面図

タッチ位置の検知イメージ

電気容量の変化検知

絶縁体

ITO層

電気を通す透明な薄膜。真空中で金属を高温加熱し、蒸着により、電気を通す膜をつくる。

**ハードコートフィルム
(表面保護)**

繰り返し使用しても傷が入りにくく、透明度が高く表面を保護している。

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM（インデックスマッチング）フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板（偏光フィルム）
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- ITO層ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- IMフィルム
ITOパターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

タブレット端末



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム

スマートフォン



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム
- フレキシブルプリント基板

業績の概況

貸借対照表 (2023年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	21,621,920	流動負債	7,923,834
現金及び預金	9,583,051	買掛金	1,128,527
受取手形及び売掛金	584,527	電子記録債務	3,879,935
電子記録債権	6,134,225	未払法人税等	477,151
契約資産	4,662,702	前受金	1,729,751
棚卸資産	535,881	引当金	349,691
未収消費税等	142,268	その他	358,777
その他	29,366		
貸倒引当金	△ 50,103	固定負債	1,407,858
		退職給付引当金	918,163
固定資産	6,287,350	資産除去債務	6,412
有形固定資産	4,447,549	その他	483,283
建物	2,155,794	負債合計	9,331,693
機械及び装置	151,338	純資産の部	
土地	2,001,209	株主資本	16,945,993
その他	139,206	資本金	1,953,930
無形固定資産	49,112	資本剰余金	1,683,457
投資その他の資産	1,790,688	利益剰余金	13,449,914
投資有価証券	1,401,899	自己株式	△ 141,307
その他	388,789	評価・換算差額等	1,631,583
		その他有価証券評価差額金	536,173
		繰延ヘッジ損益	△ 1,696
		土地再評価差額金	1,097,107
		純資産合計	18,577,577
資産合計	27,909,270	負債・純資産合計	27,909,270

損益計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	前 期		当 期	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
売 上 高	16,939,242	100.0	19,677,406	100.0
売 上 原 価	14,472,721	85.4	16,502,946	83.9
売 上 総 利 益	2,466,521	14.6	3,174,459	16.1
販売費及び一般管理費	823,743	4.9	941,674	4.8
営 業 利 益	1,642,777	9.7	2,232,785	11.3
営業外収益	60,693	0.4	56,265	0.3
営業外費用	11,004	0.1	11,930	0.1
経 常 利 益	1,692,466	10.0	2,277,120	11.6
特 別 利 益	120	0.0	200	0.0
特 別 損 失	7,226	0.0	2,059	0.0
税引前当期純利益	1,685,360	9.9	2,275,261	11.6
法 人 税 等	521,139	3.1	668,068	3.4
当 期 純 利 益	1,164,220	6.9	1,607,193	8.2

キャッシュ・フロー計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

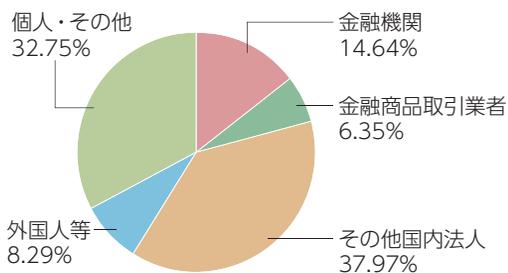
(単位：千円)

科 目	金 額	
	前 期	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,372,809	△ 459,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 759,395	△ 55,353
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 439,262	△ 541,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,303	—
現金及び現金同等物の増減額	177,454	△ 1,055,586
現金及び現金同等物の期首残高	10,361,183	10,538,638
現金及び現金同等物の期末残高	10,538,638	9,483,051

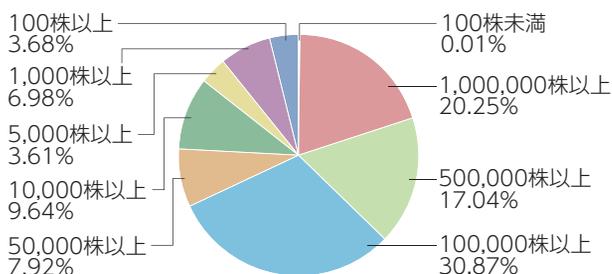
株式の状況 (2023年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	25,000,000株
■ 発行済株式の総数	12,401,720株
■ 株主数	2,916名

■ 所有者別株式分布



■ 所有数別株式分布



■ 当社株価と出来高



会社概要 (2023年3月31日現在)

社名 株式会社テクノスマート
創業 1912年6月15日
資本金 19億5,393万円
本社所在地 〒541-0056
大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号
久太郎町恒和ビル2階
電話 06-6253-7200 (代)
従業員数 234名
上場取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード 6246
事業所 滋賀事業所
[滋賀県野洲市]
東京支店
[東京都中央区]



役員 (2023年6月27日現在)

代表取締役社長	柳 井 正 巳
常務取締役	飯 田 陽 弘
取締役	下 村 壽 一
取締役	榎 本 壽 一
取締役	西 宮 良 材
取締役*	青 木 透
監査等委員	岡 健 治
取締役*	平 松 亜 矢 子
監査等委員	

*は社外取締役であります。

株主・投資家情報サイト

<https://www.technosmart.co.jp/ir/>

■トップページ



click



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

中期経営計画策定に関するお知らせ

2023年3月24日、第3次中期経営計画（2023年度～2025年度）を策定し、公表いたしました。

中期経営計画では、企業価値をさらに向上させるため、事業基盤の強化に取り組みます。同時に長期的な成長に向け車載用二次電池市場を中心に、エネルギー領域での成長を加速させています。加えて、納期の長期化解消と技術力を活かして競争力を向上させるとともに、コロナ禍で停滞していた海外戦略を強化します。また、企業価値創出の重要指標としてROE（自己資本利益率）およびDOE（自己資本配当率）を含めた目標数値を設定し、株主還元の充実など財務戦略の見直ししております。目標の達成に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

中期経営計画の詳細につきましては、上記の株主・投資家情報サイトでご覧いただけます。



■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行う
公告掲載アドレス：<https://www.technosmart.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(郵便物送付先/各種お問合せ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
[受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)]
ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

定時株主総会決議通知は、紙面による送付は取り止め、当社ホームページに掲載しております。



Techno Smart
Changing Life with Coating Technology



**UD
FONT**

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。